

日本物理学会 2013 年秋季大会: 誘電体分科インフォーマルミーティング議事録(案)

日時: 2013 年 9 月 26 日 (木) 17:30~18:30

場所: 徳島大学常三島キャンパス KE 会場

参加者数: 29 名

議題

1. 領域 10 インフォーマルミーティングの報告と協議
2. 次々期領域運営委員の選出
3. 次回学会でのシンポジウム・招待講演等の提案
4. 国際会議等の報告と予定のアナウンス

1. 領域 10 インフォーマルミーティングの報告と協議

(1) 若手奨励賞選考要項の改定

- ・ 応募資格が現在、「3 月 31 日現在において 40 歳未満」となっているが、「4 月 1 日現在において 40 歳未満」(同学年で差が出るのを無くすための理事会の判断)と改定することに関して特に異論は出なかった。
- ・ 審査委員の氏名の公表について、現在、細則には記載がないので、公表・非公表などについての議論を領域として審査委員会に提案することが報告された。

(2) 次々期(2014 年 4 月~2015 年 3 月)領域副代表候補

- ・ 次々期領域副代表は誘電体分科から出すことになっている。候補者の推薦を募ったが特に推薦が得られなかったため、世話人・運営委員グループならびに領域代表経験者で議論し、候補者を推薦することとした。なお、候補者については分科の ML にて審議することで一致した。

(3) 次々期(2014 年 4 月~2015 年 3 月)運営委員候補承認

- ・ 分科のインフォーマルミーティングにて承認された次々期運営委員を、これまでは各分科から学会に直接報告していたが、今後は一旦領域 10 として承認した後に、領域から学会に報告するように手続きを変更したい、との領域側の提案について議論された。
- ・ 各分科で承認した後に、領域 10 で「非承認」となるケースが想定されるので、領域 10 には「報告」だけでよいのではないか、などの意見が出された。
- ・ 上記のような場合にも最終的な候補者の推薦は各分科で行うという条件つきであれば、各分科で承認の後に、領域 10 で改めて承認という手続きにしても良いという意見で一致した。

(4) 領域名

- ・ 領域番号の後ろにつける分野名を再検討し、可能な限り短くなるようにしてほしい。
- ・ 結果として、領域によって分野名の数や長さが大きく異なることになっても構わないものとする。
- ・ 案としては「構造物性」が挙げられている。

これらの案件が紹介され、議論された。

- ・ 積極的な賛成意見は少なかったが、強い反対意見や全く異なる対案は提案されなかった。(ただし、「構造と物性」という提案はあった)。
- ・ 「構造物性」のメリットとしては他の領域から構造に関する講演を呼び込める効果が期待できるとの意見が出された。
- ・ デメリットとして、構造に直接関係しない分野の講演の新規参入を妨げる可能性が指摘された。
- ・ 結論として、誘電体分科としては領域名としての「構造物性」には概ね妥協できるという意見で一致した。

2. 次々期領域運営委員の推薦と選出

次々期(2014年4月～2015年3月)領域運営委員について推薦が依頼されたが、候補者の推薦はなかった。そのため、世話人・運営委員グループから東北大学多元研の木村宏之氏が候補者として推薦された。次期運営委員の池田直氏より木村氏の経歴等が紹介されたのち、同氏が次々期運営委員として承認された。

3. 第69回年次大会シンポジウムの企画について

領域10の各分科を横断的にカバーするようなシンポジウムとして、領域代表・運営委員グループが中心となって「局所構造と物性:その評価と応用」というシンポジウムが案として企画されていることが報告された。なお、詳細については未定。

誘電体分科からも独自の企画を提案するよう、依頼があった。

4. 国際会議等の報告と予定のアナウンス

- ・ 東北大学の木村氏より、IMF-2013(国際誘電体会議)の報告があった。詳細は以下の通り:
 - 場所はポーランドのクラコフ
 - 期間は2013年9/1-9/6
 - 参加人数は341人
 - 国際諮問委員の日本人は野田氏、一ノ瀬氏

- 一ノ瀬委員から鶴見委員への交代が投票により承認される
- 次回の IMF14 は投票により米国テキサス州 San Antonio に決定

- 山口大学の増山氏より, 次回の RCBJSF(日露/CIS/バルチック強誘電体シンポジウム)についてアナウンスがあった.
 - 会期:2014年9月9日~12日
 - 場所:ラトビア共和国リガ
 - Chairman: A. Sternberg 氏 , 秋重幸邦氏(島根大)

- 広島大学の森吉氏より, 次回の JKCFE-10(日韓強誘電体会議)についてアナウンスがあった.
 - 会期:2014年8月17日~20日
 - 場所:広島国際会議場(広島市平和記念公園内)
 - Chairman: 黒岩芳弘氏(広島大), Jaichan Lee 氏 (Sungkyunkwan 大学)

- 岡山大学の池田氏より, 第5回誘電体若手夏の学校が本学会に引き続き, 香川県直島町で開催されることが報告された. また, 次回は上記日韓会議のサテライトとして広島で同時開催する企画が報告された.

以上

[文責:是枝聡肇(立命館大理工)]